

# 第165回 医療技術者研修会

PFAS ～分析方法から環境問題まで～

講師：原田 浩二 先生

京都大学大学院医学研究科 准教授

主催 一般財団法人東京保健会 病体生理研究所

## 【講演要旨】

PFASは有機フッ素化合物のうち、含まれるフッ素が特に多いものの一群です。”Forever chemicals”（永遠の化学物質）と呼ばれているのはフッ素が含まれている部分は分解されないためです。PFASのなかでも、特にいくつかのものが生物に蓄積しやすく、環境汚染の問題が大きくなっています。PFOS、PFOAはこれまでもっとも調査、研究が行われてきたPFASです。多摩地域においては、東京都の2010年～2013年の調査においても地下水中のPFASが高いことは知られていました。地下水を水源とする浄水場の水道水中PFOS濃度が高く、国分寺市への配水を行っている浄水場では100 ng/L前後という、米国での勧告値、2020年4月に設定された厚生労働省の水道水質管理目標値(50 ng/L)を大幅に超えていました。PFASの摂取量は地域、個人ごとにより変わり、同じ地域内でも生活習慣や水を飲む量や食習慣の違いがあります。個人ごとにPFASの曝露経路を一つ一つ調べていくことは不可能で、体中のPFAS量を血液中濃度から知ること、バイオモニタリング（血液検査）が有効と考えます。これらの話題について紹介します。

## 【講師略歴】

2007年 京都大学博士（社会健康医学）京都大学大学院医学研究科 助教、講師、2009年、同准教授に昇任し、現在に至る2002年から京都大学の小泉昭夫教授（現名誉教授）の研究室でPFASの環境調査、バイオモニタリング、化学分析法の開発に携わってきた。近年、沖縄県や東京・多摩地区、大阪など各地のPFAS汚染地域での調査に取り組む。

## 【関連著書】

原田浩二（編著）、これでわかるPFAS汚染 暮らしに侵入した「永遠の化学物質」 合同出版、2023年  
原田浩二（編著）、消えない化学物質「PFAS」から命を守る方法 河出書房新社 2024年

【日時】2024年7月20日（土）午後3時～5時 ※ハイブリッドで開催いたします。

【会場】病体生理研究所 4階会議室 会場地図はホームページをご参照ください。

【参加費】無料 【定員】会場 40名 Web 100名（接続数）

## 申し込み方法

1. 右下のQRコードをスキャンして“Google フォーム”よりお申込みください。



申し込み

URL:

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfjg2p2n7HSKQ6\\_Re1jkCHBMtZXCwUeCw4aDaBNzTEl2cgvqQ/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfjg2p2n7HSKQ6_Re1jkCHBMtZXCwUeCw4aDaBNzTEl2cgvqQ/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0)

2. 同一施設で複数名申し込みの場合は施設視聴をお勧めします。先着順で締め切ります。あらかじめご了承ください。

\* 定員到達後の申込者へは「締切済」通知をメールで送付します。

注記：本財団は個人情報保護法を遵守し、いただいた情報は本研修会に係る受付・運営のみに利用いたします。

3. 感想文（アンケート）は、右下のQRコードをスキャンして“Google フォーム”へご記入ください。

URL:

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeGLA28Pq21OMWCEhpDe3bC5EvjKa1fACvJE8Tl5O5F\\_THCNg/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeGLA28Pq21OMWCEhpDe3bC5EvjKa1fACvJE8Tl5O5F_THCNg/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0)



感想文（アンケート）

連絡先 〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町 26-2 TEL:03-3956-4120  
一般財団法人東京保健会 病体生理研究所 医療技術者研修企画係